

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立四十万小学校] 担当教諭名 [石川 綾子] (6年1組 30名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Chiayi Municipal Gang Ping Elementary School] 担当教諭名 [Chang Hsin Yun, Huang Shiang Ju]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科		単 元 名	時間数
	総合		未来の金沢・未来の世界を創造しよう	25
	英語		Our Town, Writing A Letter	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	特色ある文化
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	互いの国の歴史や文化を大切にし、つながろう
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>フォーラムを通して、相手の顔を見て名前を知って国際交流をすることで、つながっている実感を持って活動を進めることができました。台湾の子どもたちからの返信を見ているときの表情がとてもよかった。また、壁画を描く際にも、同世代の世界の仲間がつながって平和な社会を築いていこうというアートマイルの目的を大切に、それを意識した構図にすることができた。壁画が帰ってきたら、それを見ながら、アートマイルの取り組みで大切にしていた目的や思いをもう一度みんなで共有したい。そして、台湾の先生と子どもたちへ、一人一人の言葉でお礼を伝えるところまで取り組ませたいと考えている。</p>	<p>日本と台湾の学校のスタート時期が異なるため、フォーラムでのやりとりがスタートするまでの取り組み内容に苦労した。1学期～2学期半ばまでの期間を、自己紹介と相手国調べに費やすことになる。大学生によるオリエンテーション後に、自分たちでも世界の現状について広く調べ、分かったことや考えたことを学生さんに聞いてもらう場があってもよいかもしれない。この期間の活動を充実させることができたなら、さらに効果的なよい取り組みになると思う。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>他国の子どもたちとつながれる感動を味わっていた。そして、未来の世界の平和を創るために、自分たちにもできることがあるのだ、他国の子どもたちと協力して、未来の社会を創っていこうという意識が育っていた。</p>	<p>フォーラムでのやり取りを重ねることで、教育で重視されているものの共通点と相違点を感じることができ、視野が広がった。また、変化が激しく予測が難しい未来の社会を生きることになる子どもたちに対して世界に目を向けさせることは、大変有意義であると感じた。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> 手紙を書く 自己紹介の練習 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が紹介したいことを、とても丁寧に書くことができた。相手意識が高まっているのだと思う。 	英語
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと金沢について調べる 台湾について本で調べ、新聞にまとめる 学校の様子を紹介する 金沢めぐり 日本の文化を紹介する テーマ決め 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の国土や国旗の意味、衣食住の文化を、日本と比べながら調べていた。 本で調べたふるさと金沢の歴史や文化を実際に金沢の町を歩いて見聞を深め、多くの人々によって守り継がれてきたものなのだと気づいていた。金沢の人のおもてなしの心や温かさにも触れ、テーマの設定につながった。 	総合
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムで台湾の様子を知る 実行委員を中心に考えた構図を提案する 構図やメッセージを台湾と相談して決める 下書きをする 	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムで台湾の様子を紹介すると、興味深く見ていた。 テーマについて、自分たちが一番大切にしたいことを話し合った。グループで構図案を考え、実行委員を中心にまとめた。絵の中に意味合いや思いがこもるようにしていた。 	総合
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 彩色して完成させる 制作過程を紹介する 完成した壁画を送る 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に、描き方や気をつけることについて話し合った。実行委員を中心に分担を決めて、全員で手際よく描けるように工夫をしていた。 	総合
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> 届いた壁画を鑑賞する 活動全体を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> 届いた壁画を見て、達成感を味わっていた。日本の壁画との連続性、つながりを意識して描いてくれたことに着目し、壁画を通して台湾への愛着を深めていた。 	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	学習感想に、ふるさと金沢や伝統を守り伝える人への愛着を深めたと思われる内容が多々あった。
異文化の理解	A	4	フォーラムや届いた壁画を見せた際に、大変興味深そうだった。質問も数多く出された。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	3	子ども同士の直接的なコミュニケーションは図れなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	ふるさと金沢の歴史と文化について、パワーポイントにまとめて発表した。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	5	ペアを組んで手紙を描いたことによって、相手意識を持って活動に取り組むことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	壁画の制作は、テーマ決めと構図案ともに、ほぼ子ども主体で行うことができた。台湾側のことも考慮しながら制作できた。
学習を追究する意欲	B	3	連続性のある単元構成にするのが難しかった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	パネルを使った自己紹介は、簡単にできてよかった。そのような活動を継続したら良かった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	3	自己評価のさせ方が難しかった。